

5 館 総入場者数 15 万人達成!! 開幕より 96 日目

青森県内 5 つの美術館・アートセンターによるアートフェス

AOMORI GOKAN アートフェス 2024**「つらなりのはらっぱ」**

2024 年 4 月 13 日(土) — 9 月 1 日(日)

現在開催中の AOMORI GOKAN アートフェス 2024 では、開幕より 96 日目となる 7 月 17 日(水)、開催館 5 館（青森県立美術館、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館）5 館における対象展覧会の総入場者数が 15 万人に達しました。7 月 13 日(土)より「currents / undercurrents -いま、めくるめく流れは出会って」の後期展示が始まった青森公立大学 国際芸術センター 青森（以下 ACAC）で、記念セレモニーを実施しました。15 万人目の来場者になった方は、東京から来館された大学院生の阿部優哉（あべゆうや）さん 23 歳。その場で行われたセレモニーでは、ACAC の服部浩之館長が本フェスのガイドブック、公式グッズで岩根愛さんの作品がデザインされたトートバックなどをお渡ししました。昨日青森県立美術館の展示をみて本日 ACAC に来館した阿部さんは「青森の美術館には初めて来ました。普段から現代アートが好きでよく観に行きますが、なかなか青森まで行くきっかけがなく、今回青森で新しいことをやっていると知って訪れました。15 万人目と聞いて、これまでたくさんの方がいらしたことを知って感慨深いです。これから弘前れんが倉庫美術館に行く予定です。」と鑑賞前に話してくれました。プレゼンターを務めた服部館長からは「特徴のある現代アートを核とした 5 つの施設が連携するアートプロジェクトは国内でも珍しい。青森はこれから祭りの季節を迎え最も盛り上がる時期となるが、あわせて青森県のアートの取り組みについても知っていただく機会になれば。」と語りました。本フェスは全会期 142 日間のうち 9 月 1 日(日)の閉幕までおよそ 1 ヶ月半となりました。8 月 9 日(金)からは栗林隆の体験型作品《元気炉》が各館を巡回し、関連イベントを開催します。



東京から来館し 15 万人目となった阿部さん（左）とプレゼンターを務めた服部館長（右）

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 本フェスは、2024 年 4 月 12 日(土) - 9 月 1 日(日)まで開催する、青森県で初めて県内の個性豊かな 5 つの美術館・アートセンター(青森県立美術館、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館)が連携し、各館における多様なアート体験と共に、青森県を周遊してもらうことを目的に開催するアートプロジェクトです。